

避難計画では住民の安全は守れない

高浜原発3・4号の再稼働を止めよう!



「屋内退避は、座して死を待つようなもの」(障がい者支援団体)

「もう動かすな原発! 福井県民署名」にご協力を
ネット署名 <http://fukui.jp.net/>
紙の署名 <http://urx.nu/dsFo>

川内原発の再稼働を止めよう

津波などの危険区域にある避難施設は法律違反

内閣府防災担当が認める(10月24日政府交渉)

★鹿児島県の避難計画は無効!
再稼働同意を表明できる状況ではない

薩摩川内市・鹿児島県・国は、住民の反対の声を無視して、川内原発を再稼働させるための手続きを強行に進めています。28日には薩摩川内市議会が、11月上旬には県議会が、再稼働を表明しようとしています。

しかし、10月24日に、鹿児島・佐賀・関西・首都圏の皆さんと一緒にいった政府交渉では、鹿児島県の避難計画は、法に違反し無効であることが明らかになりました。

薩摩川内市では、津波危険区域に「一時避難集合場所」等が設定されていますが、今年4月の災害対策基本法の改正で、これら津波や土砂災害等の危険区域に避難場所を設定できないことになりました。原子力災害対策特措法でも基本的に同様の扱いになりました。危険区域に避難所を指定する場合は、「技術的規準」を満たさなければなりません。原発事故に関しては、避難施設の技術的規準がないことも、国の担当者は認めました。

また、高浜原発事故時に避難先となっている兵庫県の一部でも同様の問題があります。

再稼働の2番手として高浜原発3・4号が狙われています。関電は来週にも「補正申請」を出し、規制委員会が審査して、年内には基本設計の合格書にあたる「審査書案」を完成させようとしています。全国からのパブコメについては、川内原発は「初めての審査なので実施した」と述べ、高浜原発の場合は実施しない可能性もあります。来春には再稼働しようとしています。

福井県知事は、24日の記者会見で、住民への説明会について「県が主催することは考えていない」と発言し、また地元同意は、従来通りに福井県と高浜町にあるとも述べています。事故時には避難することになる30km圏内はもとより、福島原発事故の広範囲な被害を顧みない発言です。

規制委は「再稼働と防災計画は車の両輪」と発言していますが、避難計画は破綻しています。私達は、福井・大阪・兵庫・京都の皆さんと一緒に、関西広域連合や各自治体へ申し入れを行っています。その中で、避難計画がいかに実効性のないものであり、住民の安全を守ることができないものかが具体的に明らかになっています。

各自治体や議会に、再稼働に反対するよう申し入れを強めていきましょう。

●要援護者の避難計画はずさん極まりない 「3日間の籠城」や屋内退避
高浜原発から5km圏内の病院を訪問しました。施設の一部を「放射線防護対策施設」(フィルター設置・窓の気密化等)としたとのことですが、非常用発電機の燃料は3日分しかなく、「事故後3日間の籠城」が決まっているだけです。その後は、自衛隊等による救出が「想定」されているだけです。

5km圏外の在宅の要援護者の避難先は決まっていません。屋内退避最優先です。障がい者支援団体は、「屋内退避は座して死を待つようなもの」と厳しく批判しています。(裏面へ)

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会(美浜の会)

避難計画は被ばく計画

★国の避難の基準は高すぎる・避難計画は被ばく計画

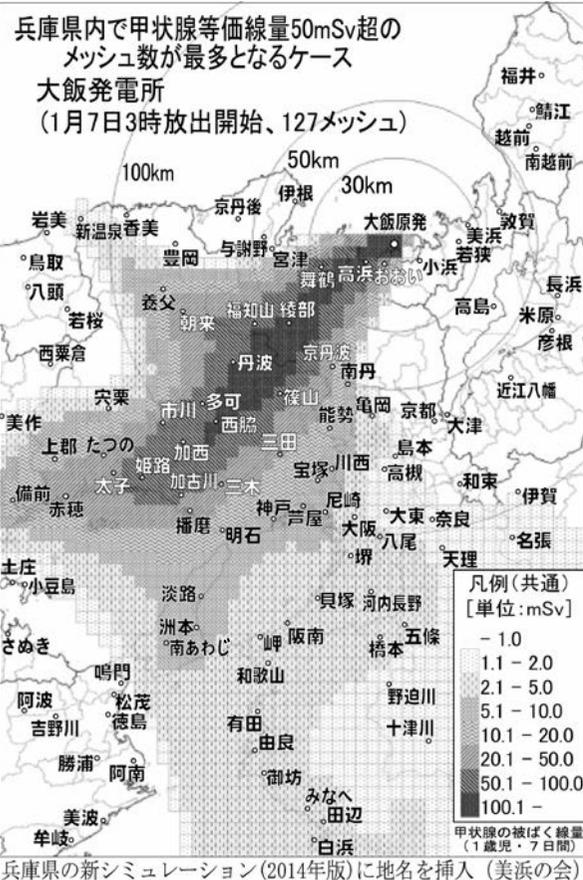
- 5km圏内（PAZ） 放射能放出前に避難
 - 関電の事故シナリオでは、約20分で炉心溶融
約90分でメルトスルー
こんな短時間で避難は無理
- 30km圏内（UPZ） まず屋内退避
 - 毎時500マイクロSv・・・即時避難（通常の1万倍）
 - 毎時20マイクロSv・・・1週間程度内に一時移転
 - 炉心溶融が始まって、「屋内退避」

★スクリーニング（汚染検査）の基準は高すぎる

- 基準値：120 Bq/cm²（40,000cpm）
- 小児の甲状腺等価線量で300mSvに相当
 - 安定ヨウ素剤服用基準の6倍
 - 「放射線管理区域の外に物を持ち出す基準」
 - = 4Bq/cm²の30倍
- この高い基準以下なら、除染なしになってしまう
- 避難住民の早期の被ばくも発見できず
 - 避難先に汚染を拡大しないという目的も果たせず

★スクリーニングは全員に？

- 車両の汚染が基準以下
 - 人も同様と見なし、人の検査なし
- 車両が基準以上
 - 代表者を検査。
 - 代表者が基準以下なら、同乗者全員を同様と見なし検査なし



避難元	30km圏内(UPZ)人口	広域避難先
福井	高浜町	兵庫
	おおい町	
	小浜市	
	若狭町	
(福井合計)	(67,000)	
滋賀	58,000	大阪・和歌山
京都	128,500	兵庫・徳島
	253,500	

★スクリーニング・除染の実施場所は？

- 「原発から5km以遠ならOK」（8月29日福井県）
- 国はこれまで「30km圏近傍で実施」としていたが、福井県の方針を容認
 - 高浜町の一部住民は、原発に近づいてスクリーニング
 - 福井県防災訓練(8/31)では、原発から9kmの「きのこの森」で実施
 - 9km地点で除染しても、兵庫の避難先に着くまでに再び汚染される。
 - スクリーニングの意味なし

★京都北部や避難先の兵庫も高い被ばく予測。受け入れできるの？

高浜原発で大事故の場合
甲状腺被ばく 1才児7日間 (mSv)

三田市	139.4
篠山市	100.1
尼崎市	87.1
神戸市	60.4

← 兵庫県2014年シミュレーション

福井県防災訓練（8月31日）

避難元の小浜市の小学校で、ヨウ素剤配布の職員。通常の一万倍の汚染想定場所で簡易マスク



防護マスクの自衛隊